

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	個々の希望に沿って外出したり、町内のイベントにでかけたりしているが、一年を通じて受診以外の外出がない方も居ます。	ホーム内で外の人と触れ合う機会や、催しものを楽しむことを増やす。	唄や踊り、読み聞かせなどを得意としている、個人や団体に対して、ホームに慰問にきて頂けるように積極的に呼びかける。	12か月
2	13	常勤職員はスキルアップのために外部主催の研修を受講しているが、非常勤職員の研修受講がない。	非常勤職員のスキルアップを図る。	非常勤職員にも研修を受講してもらう。 ・緊急時の対応・介護技術・認知症の理解など	12か月
3	33	重度化や終末期にむけた取り組みについてはこの地区の実情から医療、看護の連携がとれない現状だが、看取りケアについて、スタッフ全員が理解していない。	終末期、看取りについて研修受講を重ねて理解を深める。	・終末期研修を受講する。 ・運営推進会議で研修報告し、今後のホームの方針など話し合う。	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。